

プロパノールに関する追加資料 (3)

[吸収・分布・代謝・排泄に関する情報]

- 1 De Bruin A. Biochemical toxicology of environmental agents. Elsevier/north-holland biomedical press. (1976) 94-95.

プロパノールは肺及び胃腸管を通して速やかに吸収される。プロパノールは、プロピオン酸を経由して、最終的に容易に CO₂ まで代謝される。

- 2 Neymark M. Die Kinetik beim Umsatz von Normalpropyl- und Isopropylalkohol. *Skand.Arch.Physiol.* (1938) 78: 242-248.

イヌに経口投与された 1,600 mg/kg 体重のプロパノールは 15,800 mg/kg 体重投与されたイソプロパノールの 2 倍の速度で血中から排出される。

- 3 Gaillard D, Derache R. Metabolisation de differents alcohols, presents dans les boissons alcooliques, chez le rat. *Trav. Soc. Pharm. Montp.* (1965) 242-247.

ラットに 2,000 mg/kg 体重の経口投与を行った場合、プロパノールの血漿での濃度は 90 分で最大となり、8 時間後には消失する。

- 4 Von Wartburg. The metabolism of alcohol in normals and alcoholics: enzymes (Chapter 2) *The biology of alcoholism vol.1: biochemistry.* (1971) 63-102.

プロパノールのプロピオンアルデヒドへの酸化の程度は、エタノールが酸化されアセトアルデヒドになるのとほぼ同程度である。

- 5 Lehninger AL. The citric acid cycle (Chapter 16). *Principles of biochemistry.* (1982) 435-447.

プロピオンアルデヒドは酸化され、細胞内の脂肪酸代謝系に入るプロピオン酸塩となり、クエン酸回路において完全に代謝が行われる。